

第5学年 英語科学習指導案

日 時 令和2年11月6日(金) 公開授業Ⅱ
 児 童 5年1組 男14名 女12名 計26名
 指導者 HRT 大橋 厚悦
 ALT Robert Jones
 場 所 2Fホール

1 単元名 My Hero あこがれの人をしょうかいしよう。(Junior Sunshine Lesson6)

2 単元について

本単元では、自分があこがれている人(ヒーロー)について話を聞いたり、自分のヒーローを紹介したりする。HeやSheという代名詞で、この表現に慣れることにより、これまでの「自分とあなた」の間での会話が多かった児童が、第三者について語る事ができる題材といえる。そこで本単元では、あこがれの人を紹介する言い方に慣れ親しみながら、歴史上の人物や郷土の偉人、クラスの友だちや家族などいろいろな人を選び、自分のヒーローを発表しようとする姿を目指したい。

3 単元の目標及び評価規準

(1) 単元の目標

相手に自分や第三者のことをよく知ってもらうために、あこがれている人について、その名前や年齢、できることなどの概要を聞き取ったり、既習の表現を加えながら伝えたい内容を話したりすることができる。また、自分があこがれている人について例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を用いて書くことができる。

※本単元における「聞くこと」については、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。

(2) 学習到達目標との関連

5学年の到達目標	身近で簡単なことについて話される、初歩的な単語や表現を聞いて、話し手の意向などの要点を理解することができる。
話すこと(発表) Spoken Production	身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。
書くこと Writing	身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができる。

(3) 単元の評価規準

観 点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと (発表)	〈知識〉 He/She is good at ~ . Who is your hero? など、自分や第三者が得意なことの言い方やあこがれている人を紹介する表現やその尋ね方、答え方について理解している。 〈技能〉 He/She is good at ~ . Who is your hero?	相手に自分や第三者のことをよく知ってもらうために、あこがれている人について、その理由となること、自分の考えや気持ちなどを含め話している。	相手に自分や第三者のことをよく知ってもらうために、あこがれている人について、その理由となること、自分の考えや気持ちなどを話そうとしている。

	など、自分や第三者が得意なことの言い方やあこがれている人を紹介する表現などを用いて、自分の考えや気持ちなどを含めて話す技能を身に付けている。		
書くこと	<p>〈知識〉 He/She is good at ~ . Who is your hero? など、自分や第三者が得意なことの言い方やあこがれている人を紹介する表現について理解している。</p> <p>〈技能〉 He/She is good at ~ . Who is your hero? など、自分や第三者が得意なことの言い方やあこがれている人を紹介する表現を用いて、考えや気持ちなどを書き写したり書いたりする技能を身に付けている。</p>	相手に自分や第三者のことをよく知ってもらうために、あこがれている人について、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を用いて、考えや気持ちなどを書き写したり書いたりしている。	相手に自分や第三者のことをよく知ってもらうために、あこがれている人について、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を用いて、考えや気持ちなどを書き写したり書こうとしたりしている。

4 児童について

本学級は、英語への関心が高く、様々な単語や表現に関心をもち、自分の考えや気持ちなどを簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことに慣れ親しんでいる。また、聞き取ることにも慣れ親しんでおり、聞き取った英単語から内容を推測し、表現することもできる。書く活動では、身近で簡単な事柄について興味をもち、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いてなぞったり、書いたりしている。

しかし、一方で楽しく活動できるあまり、ゲームを楽しむことに夢中になり、発音が不明瞭になったり、声が小さくなったりすることがある。また、普段の授業ではみんなで話したり、聞いたりする活動にやや消極的な面もある。

5 指導にあたって

本単元で扱うたくさんの英単語や表現に触れ、チャンツやゲームを通して楽しみながら学習を進めていきたい。その際、“He”や“She”の言い方や、「得意なこと」や「年齢」などの言い方に慣れ親しませたい。

また、本単元のゴールを「自分にとってのヒーローを発表しよう！」と設定し、単位時間毎の学習に興味をもたせていく。毎時間の導入で、簡単なやりとり（簡単な発表）を行い、話される英語表現から、話の内容を推測していく。その中で、子ども達が話の内容を推測する際の手掛かりになる既習の表現を使用したり、子ども達の関心を引くような話題等を交えたりしながら、単元のゴール時に子ども達が発表する話形を、繰り返し聞く機会にしていきたい。単元のゴールの活動では、子ども達が相手意識や場面意識をもって発表できるよう、インフォメーションギャップによる、必然性のあるコミュニケーション活動ができるような場の設定を考えていきたい。

本単元の第5時では、自分にとってのヒーローの得意なことや年齢、自分の思いを、発表メモに書く活動が予定されている。思いを書き留めるには、その表現に音声で十分に慣れ親しんでいることが必要である。本校では毎時間 Writing の時間を設定しており、筆順や四線を意識した書き方に力を

入れている。しかし、書く活動に対して苦手意識がある児童も多くいる。習熟度別のワークシートを用意するなど、子ども達自身が自分の力を考え、選択できるような工夫を取り入れていきたい。

本校の英語学習の目標である『SHARE』を意識させ、特に“Attitude”や“Respect”を達成できるように活動を行っていききたい。学期末にはパフォーマンス評価を行うので、相手意識をもち、学習に取り組む姿勢を育てていききたい。今後は、1対1でのコミュニケーションだけではなく、グループや1対複数でのコミュニケーションを図ろうとする児童にするために、小グループや全体での活動を行っていききたい。

6 単元の指導計画と評価計画（6時間扱い）

時間	目標◆・活動○【】				評価規準<評価方法>
		知 技	思 判 表	態 度	
1	◆ ヒーローについての話を聞き、理解することができる。				<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> 本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。 </div>
	【Let's Listen1】 P.48 【Let's Chant】 ○オリジナルチャンツ ○チェンゲーム 【Let's Listen2】 P.48 【Let's Write】				
2	◆ 「できること」を表す英語表現に慣れ親しむ。				<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> 本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。 </div>
	○チャンツ・オリジナルチャンツ ○チェンゲーム 【Let's Watch and Think】 P.49 【Let's Listen3】 P.50 【Let's Write】				
3	◆ 「できる」「できない」等を尋ねたり答えたりすることができる。				<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> 本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。 </div>
	○チャンツ・オリジナルチャンツ 【Let's Listen4】 P.52 ○チェンゲーム 【Let's simple interact】 【Let's Write】				
4	◆ 年齢を表す英語表現を知り、友だちにキャラクターを紹介することができる。				<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> 本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。 </div>
	○チャンツ・オリジナルチャンツ 【Let's Listen4】 P.52 ○紹介ゲーム 【Let's Write】				

5 (本時)	◆ 例文を参考に、自分のヒーローを発表するためのメモを作成することができる。		
	<p>○チャンツ・オリジナルチャンツ 【Let's Listen4】 P.52</p> <p>○チェーンゲーム 【Let's simple interact】 【Let's Write】</p>	書	書
6	◆ 相手意識をもち、自分にとってのヒーローを発表する。		
	<p>○チャンツ・オリジナルチャンツ 【Let's Try】 P.55 【Let's Write】</p>	発	発

【「書くこと」の記録に残す評価】

◎自分にとってのヒーローのことをよく知ってもらうために、「できること」「得意なこと」などのことを含めて、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を用いて書いている。
 <行動観察・ワークシート記述分析>

◎自分にとってのヒーローのことをよく知ってもらうために、「できること」「得意なこと」などのことを含めて、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を用いて書こうとしている。
 <行動観察・ワークシート記述分析>

- ・児童が書いたワークシートの記述を分析し、評価の記録を残す。

【「話すこと【発表】」の記録に残す評価】

◎自分にとってのヒーローのことをよく知ってもらうために、「できること」「得意なこと」などのことを含めて話している。
 <行動観察>

◎自分にとってのヒーローのことをよく知ってもらうために、「できること」「得意なこと」などのことを含めて話そうとしている。
 <行動観察>

- ・児童が自分にとってのヒーローを発表している様子を見取り、評価の記録を残す。


7 展開

単元名	Lesson 6 My Hero あこがれの人をしょうかいしよう。	5 / 6	目標	○例文を参考に、自分のあこがれの人を発表するためのメモを作成することができる。
単元のゴール『自分のヒーローをしょうかいしよう!』				
扱う表現	He/She is my hero. She/He is good at table tennis. Who is your hero? He/She can run fast. Can you play the piano? I can/can't play baseball. How old are you/is she? I'm/He is/She is/10 years old. 等			
語彙例	baseball soccer table tennis kendama yo-yo piano basketball swim recorder cook badminton high fast well hero ~years old great wonderful excellent cool 等			
段階	主な学習活動及び教室英語 等	HRT の支援		※指導上の留意点 ◎評価 ●教材/教具 等
導入	<p>【Warming up】</p> <p>1 はじめのあいさつをする。 Let's start today's English Class. Hello. How are you?</p> <ul style="list-style-type: none"> ・できることを尋ねてみる。 “Can you play Kendama?”など ・年齢を尋ねてみる。 <p>H:How old are you? C:I'm 10 years old.</p> <p>2 簡単なヒーロー紹介を行う。 H: Hello.Everyone. This is Otani. He is a baseball player. He is good at baseball. He is my hero. A: How old is he. H: He is 28 years old. A:Thank you.</p> <p>3 めあてを確認する。 Today's Goal is _____. ヒーロー紹介のスピーチ原稿を作ろう。</p>	<p>○HRT 主導で行う。 ○笑顔で元気にあいさつする。 ○あいさつの場面や簡単なやりとりであってもコミュニケーションの場面と捉え、うなずいたり反応したりしながら会話を進める。</p> <p>○やりとりの後、聞こえてきた内容を発表させる。 ○相手意識を踏まえたやり取りに気づかせる。</p> <p>○めあてを確認させ、スピーチ原稿を作るための学習に興味をもたせる。</p>		<p>※楽しい雰囲気作りをする。</p> <p>●掲示用カード ※あいさつや笑顔、視線だけでなく、うなずき、繰り返し (Echoing) などに気付かせたい。 ※ “What's his name?/Who is he?” “Is he a soccer player?” 等のやりとりで確かめる。</p> <p>○学習の流れが分かるようにメニューを掲示する。</p> <p>※本時のゴールを伝える前に、単元のゴールを確認し、そのゴールを達成するために本時の活動を行うことを理解させる。</p>
7分				
展開	<p>【Main Activities】</p> <p>4 オリジナルチャンツを行う。 baseball soccer table tennis kendama</p>	○子どもたちの様子を見ながら、スピードを調節する。		※Today's Goal を達成するために必要な語彙である

	<p>yo-yo piano basketball swim recorder cook badminton high fast well hero ~years old great wonderful excellent cool など</p> <p>Who is your hero? This is Ohashi/Maeda/Hoshi. I/He/She can sing/dance/swim well. He/She is good at yo-yo/otedama/ayatori. He/She is my best friend. How old are you? I'm~years old. など</p> <p>5 Let's Listen 5 (P.54) ・美希のヒーロー紹介を聞いて、話していた内容に○をつける。</p> <p>6 Let's Read and write. (P.54) ①ヒーローを紹介する文を読んで、自分が発表するためのメモをつくる。 ②<u>子どもの様子を確認しながら、中間まとめを行う。</u></p> <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>○例文を参考に、スピーチ原稿を作成することができました。発表もがんばりたいです。 ▲ヒーローは紹介できたけど、その理由を記入することができませんでした。 ▲~の英語の書き方がわかりませんでした。※わからない英単語の確認</p> </div> <p>③中間まとめを生かして、原稿づくりを再開する。 ④ペアやグループでリハーサルをする。</p> <p>7 Let's Write ・アルファベットドリル (This is _____. He/She is a _____. He/She is good at _____. He/She is my Hero.) ・ライティングの手順通りに練習する。</p>	<p>【演示：HRT&ALT】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リズムを体で感じ取り、チャントを楽しむ。 ・ワードや基本構文をリズムに乗せる。 <p>○自分が発表する英文のイメージをもつように声かけをする。</p> <p>○言葉で説明するのではなく、やって見せて理解させる。</p> <p>○順序よく書くことに慣れさせる。</p> <p>○ハンドアウトを活用し、スピーチメモを作成する。</p> <p>○聞き手に配慮したスピーチを行うように声かけをする。 ※SHAREなど</p>	<p>ことを意識させ、意欲喚起を図りたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●掲示用カード ●リズムボックス ●デジタル教材 ●ハンドアウト (3種類) ◎ヒーローを紹介する文を参考に、自分が発表するためのメモを作ることができる。(行動観察) ●ハンドアウト ●フェルトペン ※教師があえて筆順を間違えて書き、正しい筆順を意識させながら取り組ませる。
<p>28分</p> <p>終末</p>	<p>【Looking back】</p> <p>8 本時の学習をふり返る。 How was the class? Please raise your hand. Great? / Average. / Please write your comment. What did you write?</p>	<p>○2段階で評価させる。 ○ふり返りの視点を与える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Today's Goal が達成できたか ・できるようになったこと ・友達のがんばり 	<p>※会話の楽しさや新しい気づき等を記入させ、その後発表させる。</p>

		・次の時間にがんばりたいこと	
	<p>○スピーチ原稿を完成させることができたので、次は発表したいです。 ○ヒーロー紹介の仕方がわかりました。原稿作りが難しかったです。 ▲書けない言葉がまだあったので、次の時間には覚えて書きたいです。</p>		
10分	<p>9 おわりのあいさつをする。 That's all for today's English Class. Thank you for your lesson. See you next time. Let's sing the "Goodbye song"</p>	○元気よく歌う。	※感謝の気持ちを忘れずに表現させる。

板書計画

Greeting	自分のあこがれの人をしょうかいしよう！				Looking Back	
November	Today's Goal	ヒーロー紹介のスピーチ原稿を作ろう。				
6th	Lesson6-⑤ 1 あいさつ 2 簡単なしょうかい 3 めあての確認 4 オリジナルチャンツ 5 Let's Listen 5 (P.54) 6 Let's Read and write. (P.54) 7 Let's Write 8 ふりかえり 9 終わりのあいさつ					
Thursday					Great!!	
						Average